５．日常生活圏域ニーズ調査の分析

１．評価に用いた設問と評価方法

(1)二次予防判定

○基本チェックリスト

問番号	設問	該当する選択肢
問２－Ｑ１	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	２．いいえ
問２－Ｑ２	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	２．いいえ
問２－Ｑ３	１５分位続けて歩いていますか	２．いいえ
問３－Ｑ１	この１年間に転んだことがありますか	１．はい
問３－Ｑ２	転倒に対する不安は大きいですか	１．はい
問４－Ｑ１	６ヶ月間で２～３kg以上の体重減少はありましたか	１．はい
問４－Ｑ２	身長、体重	ＢＭＩ＜18.5
問４－Ｑ３	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	１．はい
問４－Ｑ４	お茶や汁物等でむせることがありますか	１．はい
問４－Ｑ５	口の渇きが気になりますか	１．はい
問２－Ｑ５	週に１回以上は外出していますか	２．いいえ
問２－Ｑ６	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	１．はい
問５－Ｑ１	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあると言われますか	１．はい
問５－Ｑ２	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	２．いいえ
問５－Ｑ３	今日が何月何日かわからない時がありますか	１．はい
問８－Ｑ９	（ここ２週間）毎日の生活に充実感がない	１．はい
問８－Q10	（ここ２週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	１．はい
問８－Q11	（ここ２週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	１．はい
問８－Q12	（ここ２週間）自分が役に立つ人間だと思えない	１．はい
問８－Q13	（ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする	１．はい
問６－Ｑ１	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	２．できるけどしていないor３．できない
問６－Ｑ２	日用品の買物をしていますか	２．できるけどしていないor３．できない
問６－Ｑ５	預貯金の出し入れをしていますか	２．できるけどしていないor３．できない
問７－Ｑ５	友人の家を訪ねていますか	２．いいえ
問７－Ｑ６	家族や友人の相談にのっていますか	２．いいえ

○評価方法

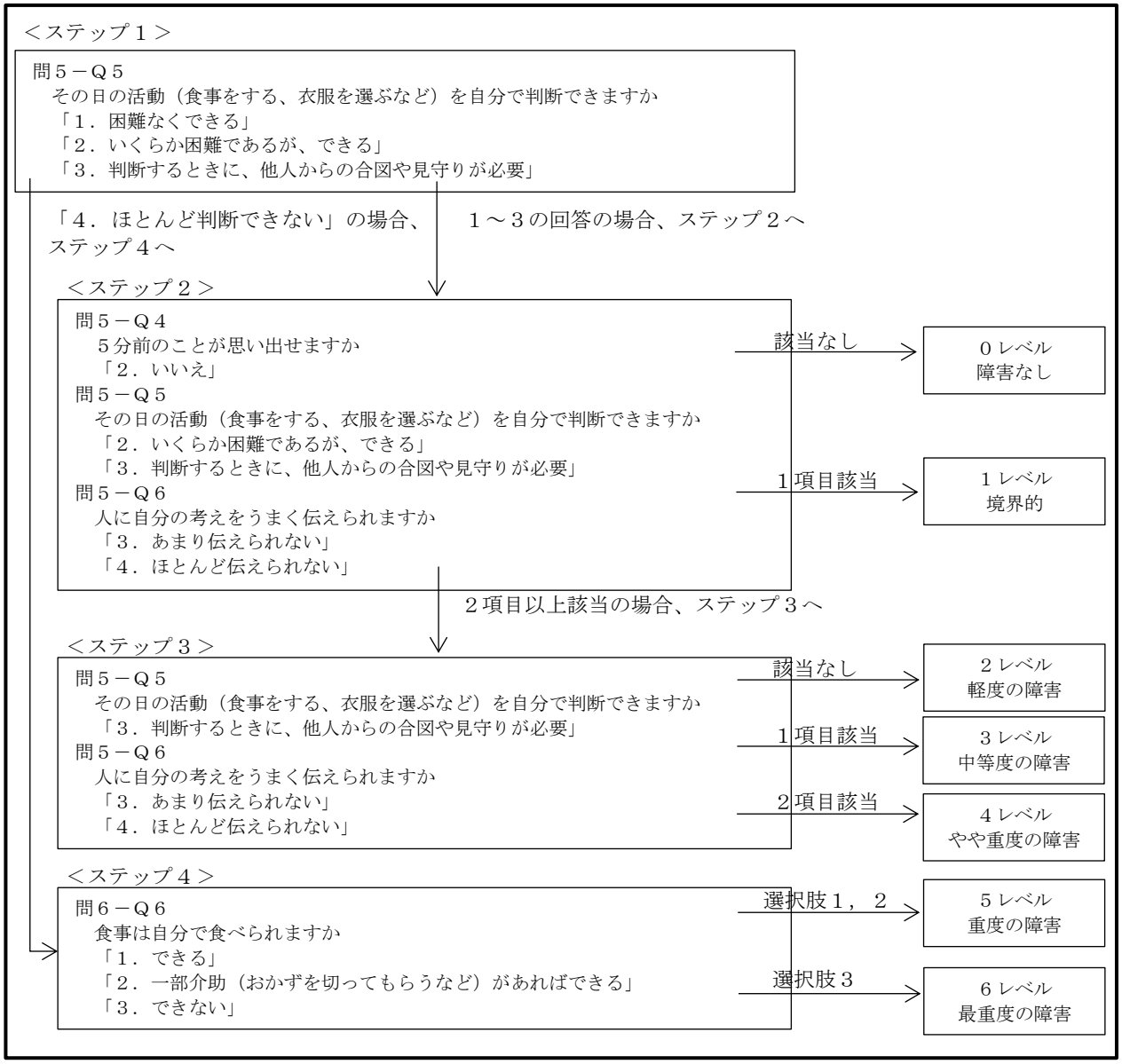
項目	評価に用いた問番号	評価方法
①運動器の機能向上 **P5**	問２－Ｑ１～３、問３－Ｑ１・２（計５問）	３問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」
②栄養改善 **P6**	問４－Ｑ１・２	全てで該当する選択肢が回答された場合は「該当」
③口腔機能の向上 **P7**	問４－Ｑ３～５	２問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」
④閉じこもり予防 **P8**	問２－Ｑ５	該当する選択肢が回答された場合は「注意」
⑤認知症予防 **P9**	問５－Ｑ１～３	いずれかで該当する選択肢が回答された場合は「注意」
⑥うつ予防・支援 **P10**	問８－Ｑ８～12	２問以上該当する選択肢が回答された場合は「注意」
⑦虚弱 **P11**	問２－Ｑ６、問６－Ｑ１・２・５、問７－Ｑ５・６、上記①～⑤（計２０問）	10問以上該当する選択肢が回答された場合は「該当」

(2)転倒リスク **P12**

問番号	設問	配点と選択肢
問３－Ｑ１	この１年間に転んだことがありますか	５点：１．はい、０点：２．いいえ
問３－Ｑ３	背中が丸くなってきましたか	２点：１．はい、０点：２．いいえ
問３－Ｑ４	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	２点：１．はい、０点：２．いいえ
問３－Ｑ５	杖を使っていますか	２点：１．はい、０点：２．いいえ
問８－Ｑ３	現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか	２点：５．５種類以上、０点：１～４、６

○６点以上リスクあり

(3)認知機能障害程度区分 **P13**



(4) 老研指標

①手段的自立度（ＩＡＤＬ）**P15**

問番号	設問	選択肢
問６－Ｑ１	バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	１．できるし、している　又は ２．できるけどしていない １点
問６－Ｑ２	日用品の買物をしていますか	
問６－Ｑ３	自分で食事の用意をしていますか	
問６－Ｑ４	請求書の支払いをしていますか	
問６－Ｑ５	預貯金の出し入れをしていますか	

○５点：高い
○４点：やや低い
○０～３点：低い

②知的能動性　**P16**

問番号	設問	選択肢
問７－Ｑ１	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	１．はい：１点
問７－Ｑ２	新聞を読んでいますか	
問７－Ｑ３	本や雑誌を読んでいますか	
問７－Ｑ４	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○４点：高い
○３点：やや低い
○０～２点：低い

③社会的役割　**P17**

問番号	設問	選択肢
問７－Ｑ５	友人の家を訪ねていますか	１．はい：１点
問７－Ｑ６	家族や友人の相談にのっていますか	
問７－Ｑ７	病人を見舞うことができますか	
問７－Ｑ８	若い人に自分から話しかけることがありますか	

○４点：高い
○３点：やや低い
○０～２点：低い

④老研指標総合評価（ＩＡＤＬ、知的能動性、社会的役割の合計点）**P18**
○１１点以上：高い
○９～１０点：やや低い
○８点以下：低い

(5)日常生活動作（ＡＤＬ） **P19**

問番号	項目	選択肢	配点
問６－Ｑ６	食事	１．できる	１０
		２．一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる	5
		３．できない	0
問６－Ｑ７	寝床への移動	１．受けない	１５
		２．一部介助があればできる	１０
		３．全面的な介助が必要 （問６－Ｑ８の回答が「１．できる」「２．支えが必要」の場合	5
		３．全面的な介助が必要 （問６－Ｑ８の回答が「３．できない」の場合	0
問６－Ｑ９	整容	１．できる	5
		２．一部介助があればできる　又は　３．できない	0
問６－Q10	トイレ	１．できる	１０
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	5
		３．できない	0
問６－Q11	入浴	１．できる	5
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる　又は　３．できない	0
問６－Q12	歩行	１．できる	１５
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	１０
		３．できない	0
問６－Q13	階段昇降	１．できる	１０
		２．介助があればできる	5
		３．できない	0
問６－Q14	着替え	１．できる	１０
		２．介助があればできる	5
		３．できない	0
問６－Q15	排便	１．ない	１０
		２．ときどきある	5
		３．よくある	0
問６－Q16	排尿	１．ない	１０
		２．ときどきある	5
		３．よくある	0

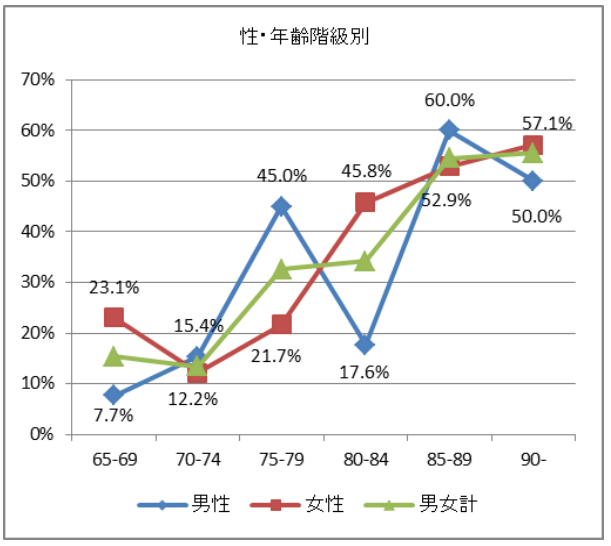
○１００点：完全自立
○65～95点：一部介助
○45～60点：起居移動中心介助
○40点以下：介助

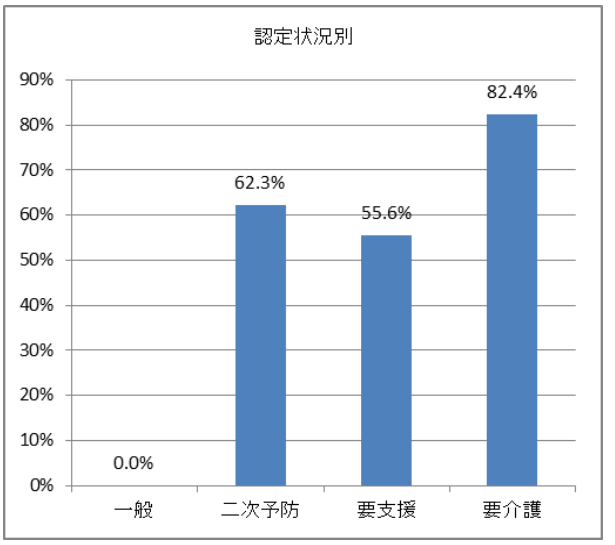
２．二次予防判定

①運動器

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「運動器」について分析したところ、全体が26.5%、男性が22.9%、女性が29.0%で該当（リスクあり）となっております。年代によって若干のバラつきがあるものの、高齢になるにつれ該当（リスクあり）の割合が高くなっております。

認定状況別にみると要支援より二次予防の該当（リスクあり）の割合が高くなっております。





男性平均　22.9%
女性平均　29.0%
男女計平均　26.5%

運動器　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問2-Q1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（いいえ）	30.8%	23.9%	44.2%	58.5%	72.7%	66.7%
	問2-Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（いいえ）	11.5%	7.5%	20.9%	29.3%	40.9%	44.4%
	問2-Q3 15分位続けて歩いていますか（いいえ）	13.5%	11.9%	27.9%	31.7%	54.5%	22.2%
	問3-Q1 この1年間に転んだことはありますか（はい）	17.3%	17.9%	27.9%	36.6%	36.4%	33.3%
	問3-Q2 転倒に対する不安は大きいですか（はい）	26.9%	37.3%	65.1%	56.1%	68.2%	77.8%

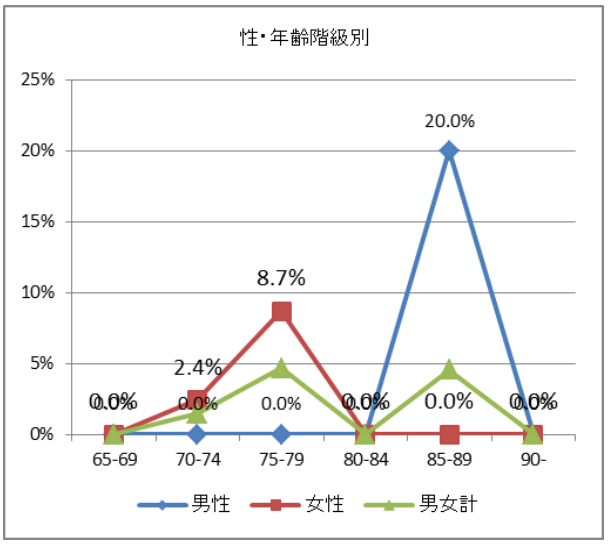
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問2-Q1 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか（いいえ）	20.1%	69.6%	66.7%	88.2%
	問2-Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（いいえ）	2.2%	37.7%	44.4%	70.6%
	問2-Q3 15分位続けて歩いていますか（いいえ）	11.5%	31.9%	44.4%	70.6%
	問3-Q1 この1年間に転んだことはありますか（はい）	8.6%	49.3%	55.6%	47.1%
	問3-Q2 転倒に対する不安は大きいですか（はい）	28.1%	73.9%	100.0%	76.5%

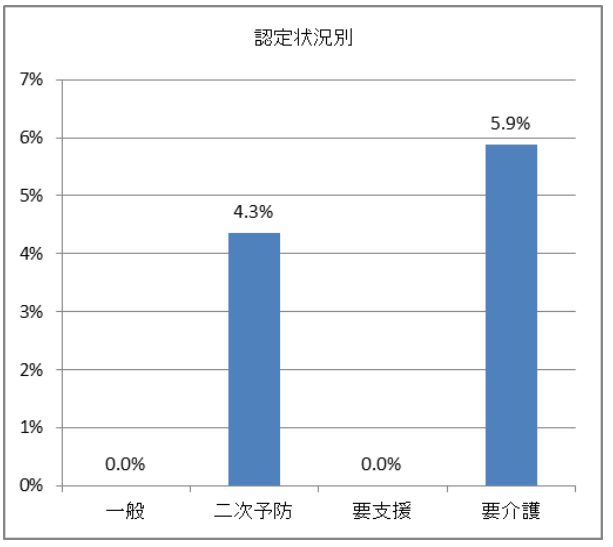
※運動器の判定：5項目中、3項目以上が該当する者を「該当（リスクあり）」と判定。

②栄養改善

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「栄養改善」について分析したところ、全体が1.7%、男性が1.0%、女性が2.2%で該当（リスクあり）となっております。年代によって若干のバラつきがあり、85～89歳の女性の該当（リスクあり）の割合が20%なっております。

認定状況別にみると要介護と二次予防の該当（リスクあり）の割合が高くなっております。





男性平均　1.0%
女性平均　2.2%
男女計平均　1.7%

栄養改善　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問4-Q1　６ヶ月間で２～３kg以上の体重減少はありましたか（はい）	9.6%	10.4%	14.0%	7.3%	27.3%	11.1%
	問4-Q2　身長、体重（BMI＜18.5）	3.8%	10.4%	9.3%	4.9%	13.6%	0.0%

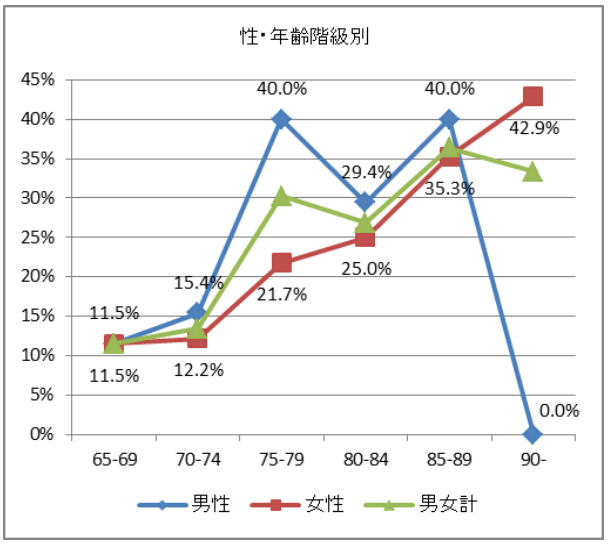
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問4-Q1　６ヶ月間で２～３kg以上の体重減少はありましたか（はい）	7.2%	18.8%	0.0%	29.4%
	問4-Q2　身長、体重（BMI＜18.5）	9.4%	5.8%	0.0%	5.9%

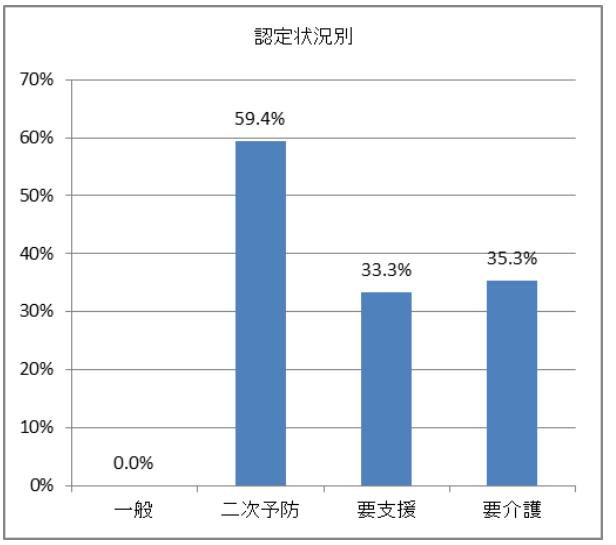
※栄養改善の判定：全項目該当する者を「該当（リスクあり）」と判定。

③口腔機能の向上

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「口腔機能の向上」について分析したところ、全体が21.4%、男性が22.9%、女性が20.3%で該当（リスクあり）となっております。高齢になるにつれ該当者（リスクあり）の割合が高くなっております。

認定状況別にみると二次予防の該当（リスクあり）の割合が59.4%で半数を超えている状況です。





男性平均　22.9%
女性平均　20.3%
男女計平均　21.4%

口腔機能の向上　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問4-Q3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（はい）	23.1%	19.4%	27.9%	36.6%	36.4%	33.3%
	問4-Q4 お茶や汁物等でむせることがありますか（はい）	15.4%	26.9%	27.9%	31.7%	36.4%	33.3%
	問4-Q5 口の渇きがきになりますか（はい）	17.3%	19.4%	39.5%	26.8%	40.9%	11.1%

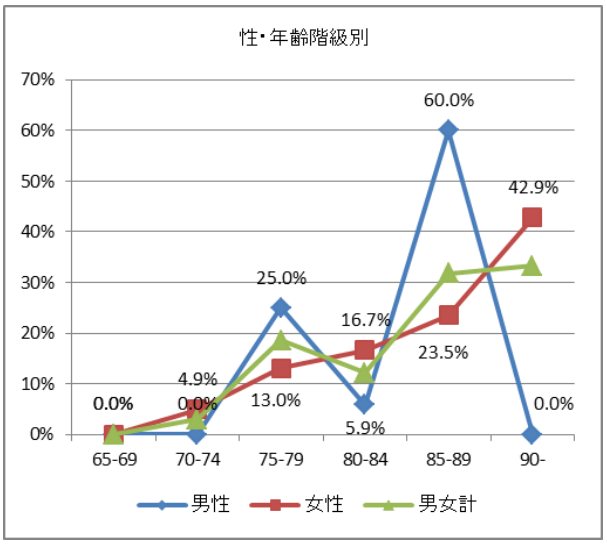
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問4-Q3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（はい）	8.6%	59.4%	22.2%	47.1%
	問4-Q4 お茶や汁物等でむせることがありますか（はい）	11.5%	52.2%	33.3%	41.2%
	問4-Q5 口の渇きがきになりますか（はい）	10.8%	50.7%	44.4%	35.3%

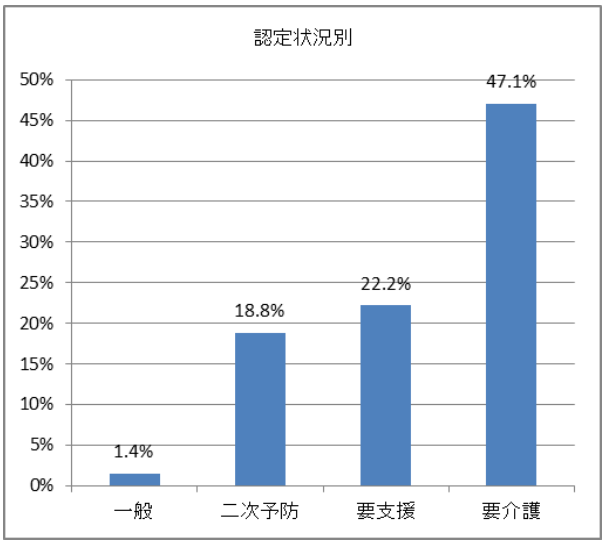
※口腔機能の判定：3項目中、2項目以上が該当する者を「該当（リスクあり）」と判定。

④閉じこもり予防

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「閉じこもり予防」について分析したところ、全体が10.7%、男性が9.4%、女性が11.6%で注意（リスクあり）となっております。高齢になるにつれ注意（リスクあり）の割合が高くなり、特に85～89歳の男性が60.0%となっております。

認定状況別にみると重度者になるにつれ注意（リスクあり）の割合が高くなっております。





男性平均　　9.4%
女性平均　　11.6%
男女計平均　10.7%

閉じこもり予防　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問2-Q5 週に1回以上は外出していますか (いいえ)	0.0%	3.0%	18.6%	12.2%	31.8%	33.3%

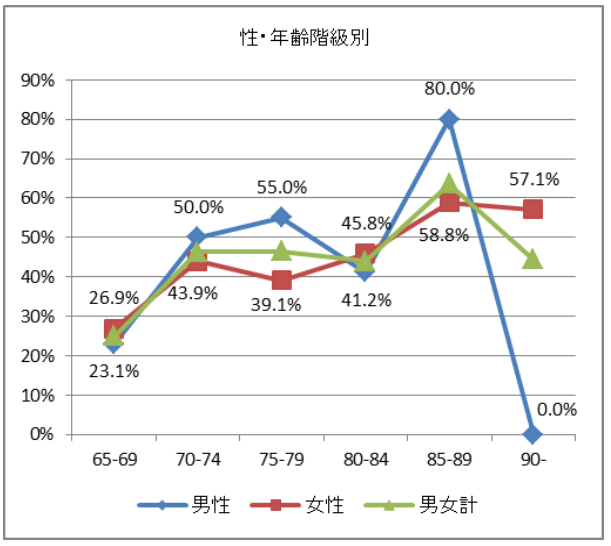
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問2-Q5 週に1回以上は外出していますか (いいえ)	1.4%	18.8%	22.2%	47.1%

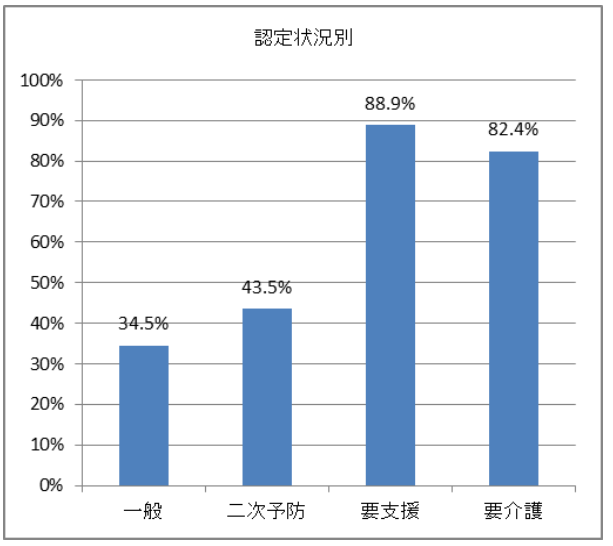
※閉じこもり予防の判定：項目に該当する者を「注意（リスクあり）」と判定。

⑤認知症予防

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「認知症予防」について分析したところ、全体が全体が42.7%、男性が42.7%、女性が42.8%で注意（リスクあり）となり、男女の割合はほぼ同じとなっております。高齢になるにつれ注意（リスクあり）の割合が高くなっております。

認定状況別にみると要支援・要介護の注意（リスクあり）の割合が8割を超えており、二次予防については43.5%となっております。





男性平均　42.7%
女性平均　42.8%
男女計平均　42.7%

認知症予防　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問5-Q1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあると言われますか（はい）	9.6%	17.9%	16.3%	26.8%	40.9%	33.3%
	問5-Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（いいえ）	5.8%	13.4%	18.6%	9.8%	18.2%	22.2%
	問5-Q3 今日が何月何日かわからない時がありますか	15.4%	20.9%	32.6%	26.8%	59.1%	22.2%

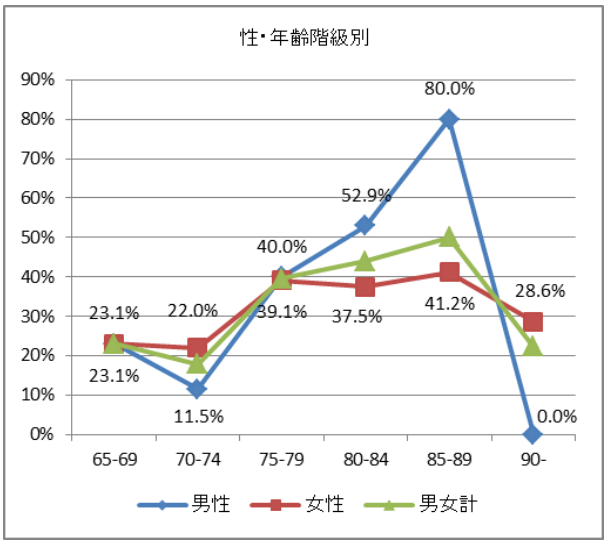
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問5-Q1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあると言われますか	13.7%	23.2%	55.6%	41.2%
	問5-Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（いいえ）	8.6%	7.2%	11.1%	70.6%
	問5-Q3 今日が何月何日かわからない時がありますか	17.3%	31.9%	66.7%	58.8%

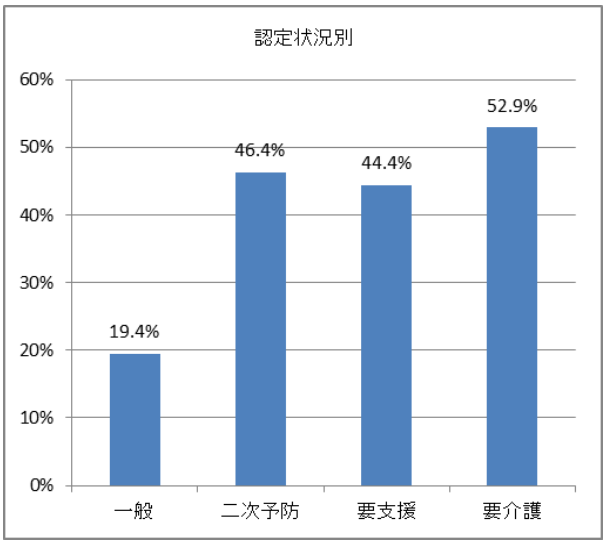
※認知症予防の判定：3項目中、2項目以上が該当する者を「注意（リスクあり）」と判定。

⑥うつ予防・支援

基本チェックリストの設問（下表）をもとに「うつ予防・支援」について分析したところ、全体が30.8%、男性が31.3%、女性が30.4%で注意（リスクあり）となり、男女の割合はほぼ同じとなっております。高齢になるにつれ注意（リスクあり）の割合が高くなっており、特に85～90歳の男性の割合が80.0%となっております。

認定状況別にみると要介護の注意（リスクあり）の割合が高くなっており、二次予防、要支援の割合も約半数の割合となっております。





男性平均　31.3%
女性平均　30.4%
男女計平均　30.8%

うつ予防・支援　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問8-Q9 （ここ２週間）毎日の生活に充実感がない（はい）	15.4%	10.4%	32.6%	14.6%	27.3%	22.2%
	問8-Q10（ここ２週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった（はい）	13.5%	4.5%	11.6%	24.4%	22.7%	11.1%
	問8-Q11（ここ２週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる（はい）	25.0%	19.4%	37.2%	43.9%	45.5%	33.3%
	問8-Q12 （ここ２週間）自分が役に立つ人間だと思えない（はい）	5.8%	16.4%	32.6%	17.1%	40.9%	44.4%
	問8-Q13 （ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする（はい）	17.3%	19.4%	30.2%	41.5%	45.5%	22.2%

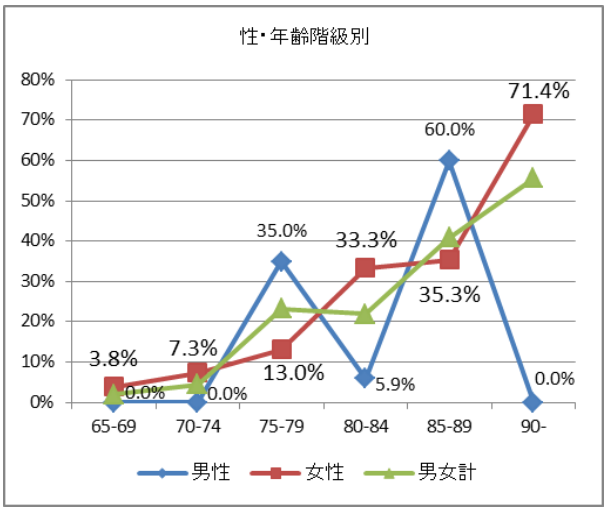
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問8-Q9 （ここ２週間）毎日の生活に充実感がない（はい）	13.7%	20.3%	22.2%	47.1%
	問8-Q10（ここ２週間）これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった（はい）	6.5%	17.4%	22.2%	47.1%
	問8-Q11（ここ２週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる（はい）	20.1%	44.9%	55.6%	52.9%
	問8-Q12 （ここ２週間）自分が役に立つ人間だと思えない（はい）	12.2%	27.5%	44.4%	47.1%
	問8-Q13 （ここ２週間）わけもなく疲れたような感じがする（はい）	17.3%	40.6%	44.4%	47.1%

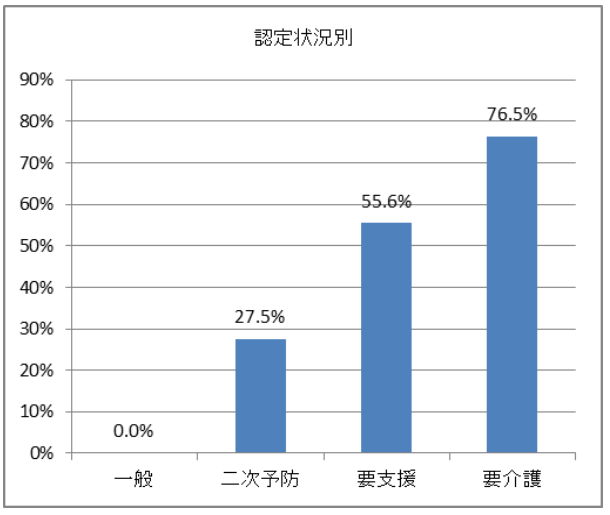
※うつ予防・支援の判定：5項目中、2項目以上が該当する者を「注意(リスクあり)」と判定。

⑦虚弱

基本チェックリストの設問（下表及び①～⑤）をもとに「虚弱」について分析したところ、全体が15.8%、男性が11.5%、女性が18.8%で注意（リスクあり）となっております。高齢になるにつれ注意（リスクあり）の割合が高くなっております。

認定状況別にみると要介護の注意（リスクあり）の割合が高くなっており、要支援の割合も約半数の割合となっております。





男性平均　11.5%
女性平均　18.8%
男女計平均　15.8%

虚弱　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問2-Q6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（はい）	23.1%	20.9%	37.2%	34.1%	54.5%	55.6%
	問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）（できるけどしていないorできない）	15.4%	10.4%	30.2%	34.1%	59.1%	55.6%
	問6-Q2 日用品の買物をしていますか（できるけどしていないorできない）	13.5%	6.0%	27.9%	19.5%	45.5%	55.6%
	問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか（できるけどしていないorできない）	13.5%	14.9%	30.2%	22.0%	50.0%	55.6%
	問7-Q5 友人の家を訪ねていますか（いいえ）	50.0%	28.4%	58.1%	61.0%	63.6%	55.6%
	問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか（いいえ）	11.5%	9.0%	39.5%	34.1%	54.5%	44.4%

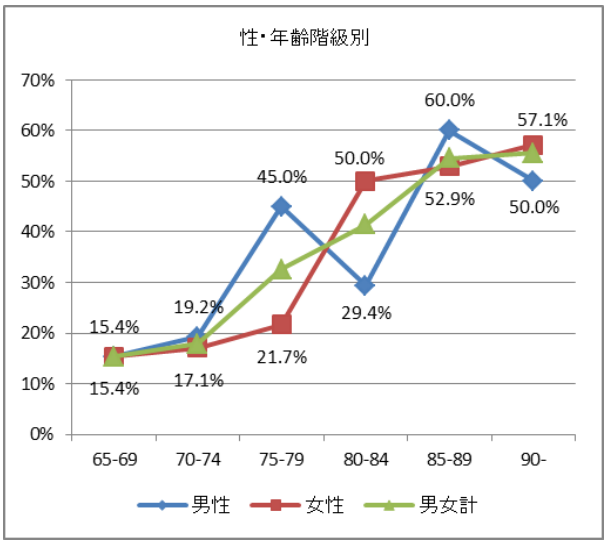
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問2-Q6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（はい）	13.7%	55.1%	66.7%	58.8%
	問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）（できるけどしていないorできない）	14.4%	27.5%	66.7%	88.2%
	問6-Q2 日用品の買物をしていますか（できるけどしていないorできない）	7.9%	21.7%	55.6%	88.2%
	問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか（できるけどしていないorできない）	12.2%	29.0%	55.6%	76.5%
	問7-Q5 友人の家を訪ねていますか（いいえ）	41.7%	50.7%	66.7%	88.2%
	問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか（いいえ）	15.8%	27.5%	66.7%	70.6%

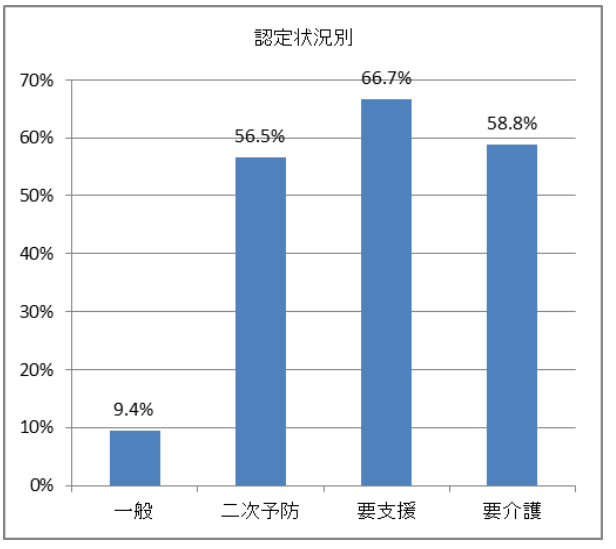
※虚弱の判定：20項目中(P5～P9の14問と上記6問）、10項目以上が該当する者を「該当(リスクあり)」と判定。

３．転倒リスク

下表の設問をもとに「転倒リスク」について分析したところ、全体が29.1%、男性が28.1%、女性が29.7%で該当（リスクあり）となっております。高齢になるににつれリスクありの割合が高くなっており、75歳以上から割合が大きくなってきております。

認定状況別にみると要支援・要介護・二次予防の順に該当（リスクあり）の割合が高くなっており、半数を超える割合となっております。





男性平均　28.1%
女性平均　29.7%
男女計平均　29.1%

転倒リスク　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問3-Q1 この１年間に転んだことがありますか（はい：5点）	17.3%	17.9%	27.9%	36.6%	36.4%	33.3%
	問3-Q3 背中が丸くなってきましたか（はい：2点）	15.4%	34.3%	27.9%	34.1%	54.5%	66.7%
	問3-Q4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか（はい：2点）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	問3-Q5 杖を使っていますか（はい：2点）	5.8%	3.0%	9.3%	14.6%	36.4%	44.4%
	問8-Q3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか（5種類以上：2点）	26.9%	23.9%	23.3%	31.7%	36.4%	44.4%

	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問3-Q1 この１年間に転んだことがありますか（はい：5点）	8.6%	49.3%	55.6%	47.1%
	問3-Q3 背中が丸くなってきましたか（はい：2点）	18.0%	49.3%	66.7%	58.8%
	問3-Q4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか（はい：2点）	45.3%	84.1%	100.0%	70.6%
	問3-Q5 杖を使っていますか（はい：2点）	1.4%	20.3%	44.4%	41.2%
	問8-Q3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか（5種類以上：2点）	19.4%	36.2%	55.6%	47.1%

※転倒リスク：5項目の配点で、6点以上が該当する者を「リスクあり」と判定。

４．認知機能障害程度区分

認知機能の障害程度の指標として有用とされるCPS(Cognitive Performance Scale：認知機能障害の評価尺度)に準じた設問を組み込んであります。設問に対する回答内容により、0レベル(障害なし)から6レベル(最重度の障害がある)まで評価が可能となっており、別記載の評価方法により、評価を行っております。

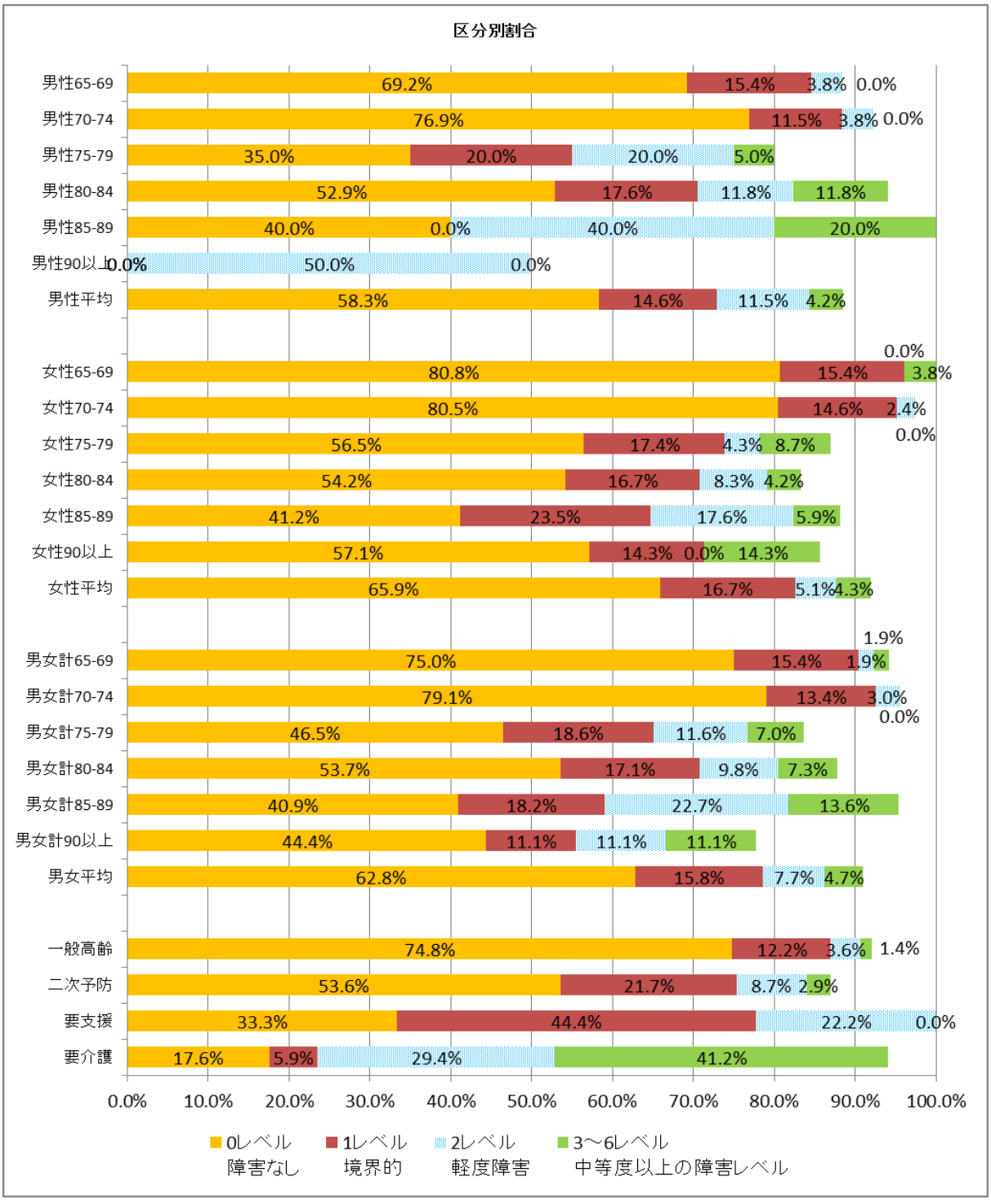
○ 性別の平均でみると0レベル(障害なし)の割合は、男性58.3%、女性65.9%と女性の方が認知症機能障害程度が低い人の割合がやや高くなっております。

○ 男女とも年齢が高くなるにつれて、1レベル以上の割合が高くなっております。なお、男性の75歳以上において、1レベル以上の割合が全般的に高くなっております。

○ 認定状況別にみると、認定状況が重度化になるにつれ障害レベルの割合も高くなっており、要介護の認定が出ている人については、2レベル以上の軽度障害以上が7割を超える割合となっております。

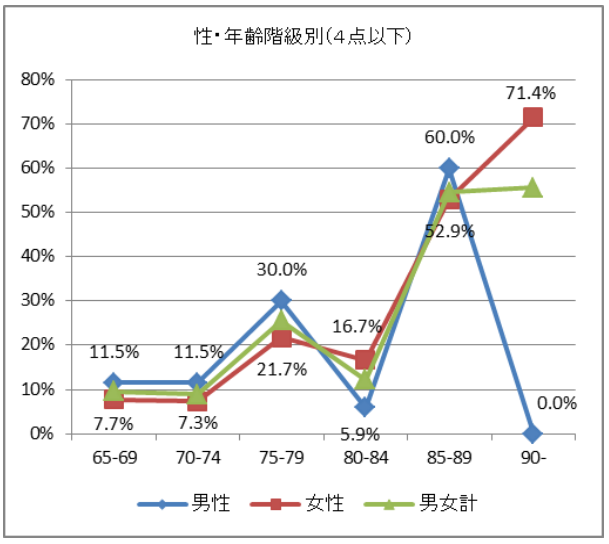
認知機能障害程度区分　判定で使用した設問

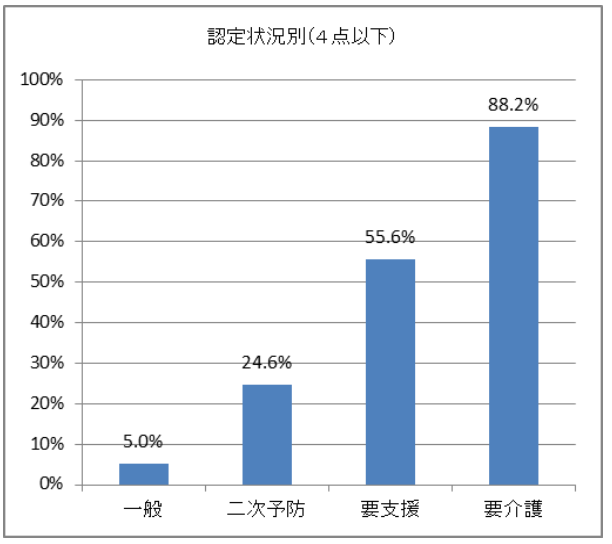
設問番号	設問内容
問５－Ｑ４	５分前のことが思い出せますか
問５－Ｑ５	その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか
問５－Ｑ６	人に自分の考えをうまく伝えられますか
問６－Ｑ６	食事は自分で食べられますか


区分別割合
男性65-69
69.2%
15.4%
3.8%
0.0%
男性70-74
76.9%
11.5%
3.8%
0.0%
男性75-79
35.0%
20.0%
20.0%
5.0%
男性80-84
52.9%
17.6%
11.8%
11.8%
男性85-89
40.0%
0.0%
40.0%
20.0%
男性90以上
0.0%
50.0%
0.0%
男性平均
58.3%
14.6%
11.5%
4.2%
女性65-69
80.8%
15.4%
3.8%
0.0%
女性70-74
80.5%
14.6%
2.4%
0.0%
女性75-79
56.5%
17.4%
4.3%
8.7%
女性80-84
54.2%
16.7%
8.3%
4.2%
女性85-89
41.2%
23.5%
17.6%
5.9%
女性90以上
57.1%
14.3%
0.0%
14.3%
女性平均
65.9%
16.7%
5.1%
4.3%
男女計65-69
75.0%
15.4%
1.9%
1.9%
男女計70-74
79.1%
13.4%
3.0%
0.0%
男女計75-79
46.5%
18.6%
11.6%
7.0%
男女計80-84
53.7%
17.1%
9.8%
7.3%
男女計85-89
40.9%
18.2%
22.7%
13.6%
男女計90以上
44.4%
11.1%
11.1%
11.1%
男女平均
62.8%
15.8%
7.7%
4.7%
一般高齢
74.8%
12.2%
3.6%
1.4%
二次予防
53.6%
21.7%
8.7%
2.9%
要支援
33.3%
44.4%
22.2%
0.0%
要介護
17.6%
5.9%
29.4%
41.2%
0.0%
10.0%
20.0%
30.0%
40.0%
50.0%
60.0%
70.0%
80.0%
90.0%
100.0%
0レベル
障害なし
1レベル
境界的
2レベル
軽度障害
3～6レベル
中等度以上の障害レベル

５．老健指標
①手段的自立度（ＩＡＤＬ）

手段的自立度については、下記設問を判定項目とし評価しております。評価結果において、４点以下の低下者を見てみると男性平均16.7%に対し、女性平均では20.3%と女性の方が低下者の割合が増えております。また、男女共に85歳以上の低下者の割合が急激に伸びております。
認定状況別にみると要介護・要支援で低下者の割合が高くなっております。





男性平均　16.7%
女性平均　20.3%
男女計平均　18.8%

手段的自立度　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	96.2%	91.0%	74.4%	82.9%	40.9%	22.2%
	問6-Q2 日用品の買物をしていますか	96.2%	95.5%	76.7%	90.2%	63.6%	55.6%
	問6-Q3 自分で食事の用意をしていますか	88.5%	95.5%	74.4%	90.2%	59.1%	55.6%
	問6-Q4 請求書の支払いをしていますか	98.1%	95.5%	83.7%	85.4%	72.7%	44.4%
	問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか	98.1%	94.0%	79.1%	90.2%	68.2%	44.4%

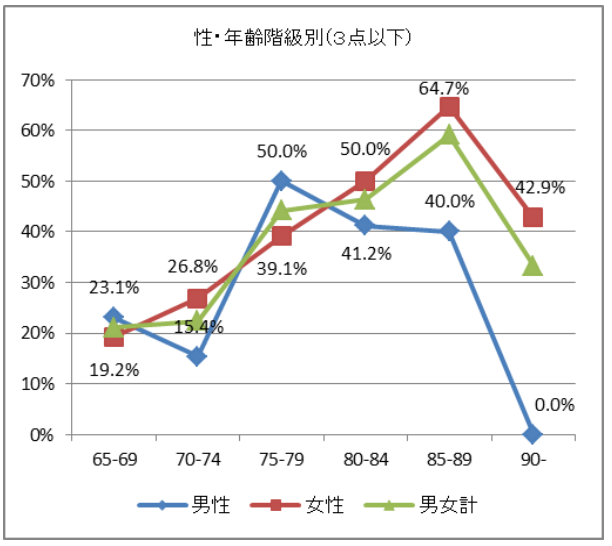
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問6-Q1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	91.4%	84.1%	33.3%	0.0%
	問6-Q2 日用品の買物をしていますか	95.0%	89.9%	77.8%	11.8%
	問6-Q3 自分で食事の用意をしていますか	91.4%	87.0%	88.9%	11.8%
	問6-Q4 請求書の支払いをしていますか	94.2%	94.2%	77.8%	17.6%
	問6-Q5 預貯金の出し入れをしていますか	95.0%	89.9%	77.8%	17.6%

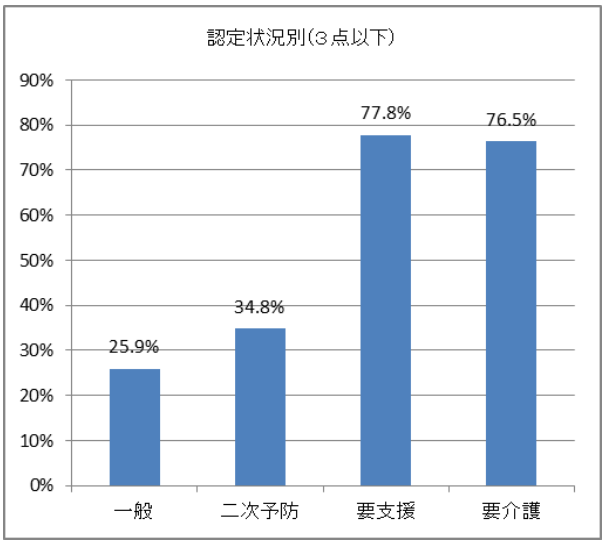
※回答で「できるし、している」「できるけど、していない」に１点とし、５点で「高い」
４点で「やや低い」、０～３点で「低い」と評価。

②知的能動性

知的能動性については、下記設問を判定項目とし評価しております。評価結果において、３点以下の低下者を見てみると男性平均16.7%に対し、女性平均では37.0%と女性の方が低下者の割合が増えております。

認定状況別にみると要介護・要支援で低下者の割合が高くなっており、ともに7割を超える割合となっております。





男性平均　30.2%
女性平均　37.0%
男女計平均　34.2%

知的能動性　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問7-Q1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	98.1%	80.6%	74.4%	73.2%	31.8%	22.2%
	問7-Q2 新聞を読んでいますか	92.3%	89.6%	86.0%	80.5%	68.2%	55.6%
	問7-Q3 本や雑誌を読んでいますか	82.7%	77.6%	58.1%	58.5%	45.5%	33.3%
	問7-Q4 健康についての記事や番組に関心がありますか	92.3%	92.5%	86.0%	75.6%	63.6%	44.4%

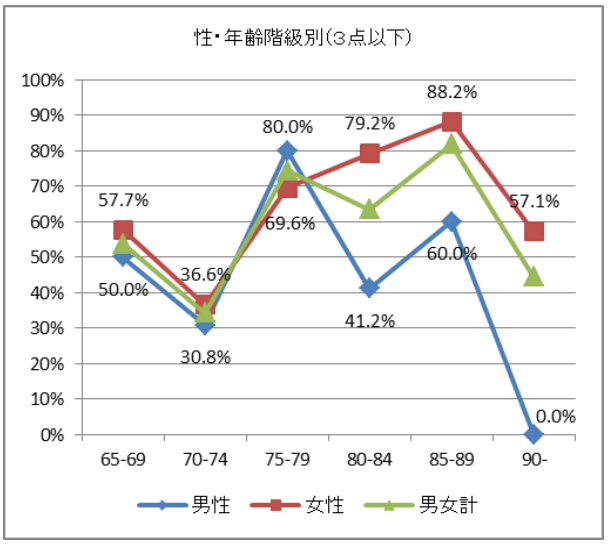
	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問7-Q1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	86.3%	72.5%	33.3%	17.6%
	問7-Q2 新聞を読んでいますか	91.4%	78.3%	100.0%	47.1%
	問7-Q3 本や雑誌を読んでいますか	75.5%	65.2%	22.2%	29.4%
	問7-Q4 健康についての記事や番組に関心がありますか	91.4%	81.2%	55.6%	47.1%

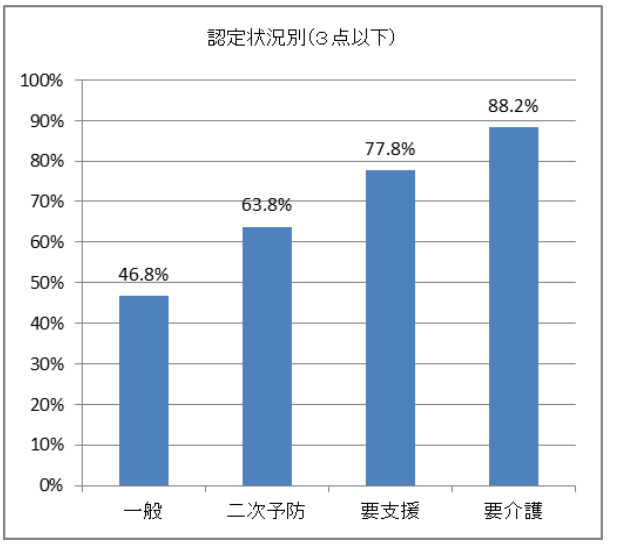
※回答で「はい」に１点とし、４点で「高い」、３点で「やや低い」、０～２点で「低い」と評価。

③社会的役割

社会的役割については、下記設問を判定項目とし評価しております。評価結果において、３点以下の低下者を見てみると男性平均49.0%に対し、女性平均では60.9%と女性の方が低下者の割合が増えております。

認定状況別にみると要介護・要支援と重度化になるにつれて低下者の割合が高くなっております。





男性平均　　49.0%
女性平均　　60.9%
男女計平均　54.3%

社会的役割　判定で使用した設問

	年齢	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-
	回答者数	52	67	43	41	22	9
判定	問7-Q5 友人の家を訪ねていますか	50.0%	65.7%	39.5%	31.7%	27.3%	11.1%
	問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか	88.5%	88.1%	55.8%	58.5%	36.4%	11.1%
	問7-Q7 病人を見舞うことができますか	96.2%	94.0%	76.7%	78.0%	54.5%	33.3%
	問7-Q8 若い人に自分から話しかけることがありますか	88.5%	74.6%	60.5%	70.7%	63.6%	33.3%

	認定状況	一般高齢	二次予防	要支援	要介護
	回答者数	139	69	9	17
判定	問7-Q5 友人の家を訪ねていますか	53.2%	43.5%	33.3%	0.0%
	問7-Q6 家族や友人の相談にのっていますか	80.6%	65.2%	22.2%	17.6%
	問7-Q7 病人を見舞うことができますか	93.5%	79.7%	77.8%	5.9%
	問7-Q8 若い人に自分から話しかけることがありますか	78.4%	65.2%	66.7%	47.1%

※回答で「はい」に１点とし、４点で「高い」、３点で「やや低い」、０～２点で「低い」と評価。

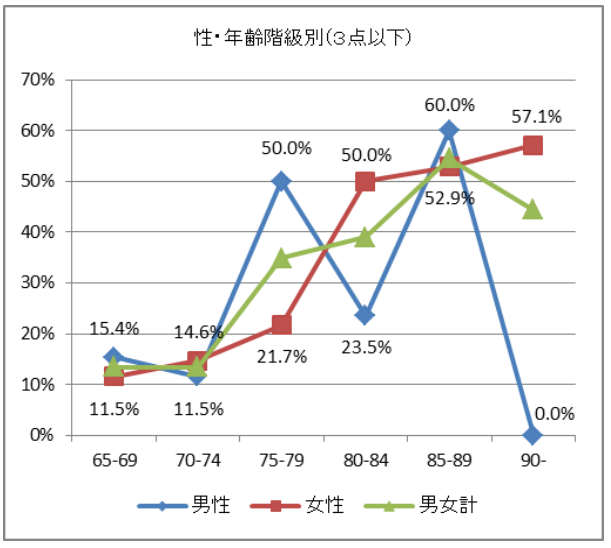
④老研指標総合評価（ＩＡＤＬ、知的能動性、社会的役割の合計点）

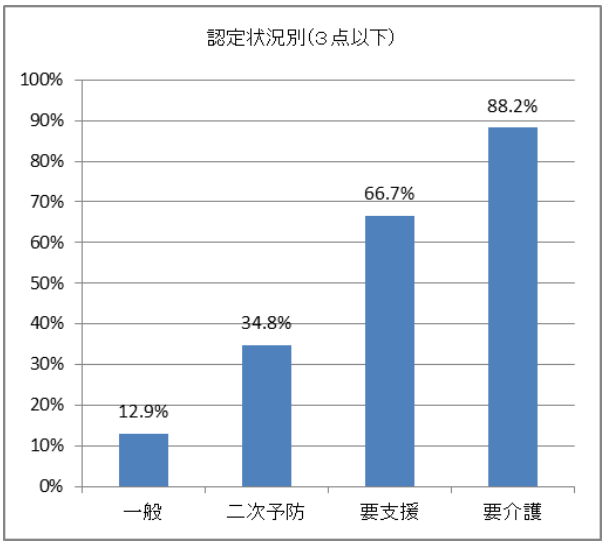
老研指標総合評価は①手段的自立度、②知的能動性、③社会的役割の評価項目の合計点を13点満点で評価し、11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」として評価しております。

10点以下を「低下者」として評価した結果を性別で見ると男性25.0%に対し、女性28.3%と女性の方が低下者の割合が高いです。

年齢別に女性の方は80歳以上において、急激に低下者の割合が伸びております。男性については75歳以上において、低下者の割合が伸びております。

認定状況別でみると、要介護・要支援者の低下者の割合が高く、要介護者で88.2%、要支援者で66.7%となっております。





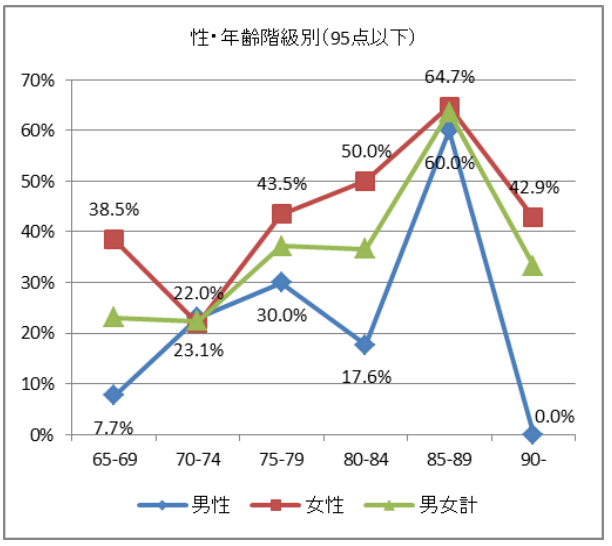
男性平均　25.0%
女性平均　28.3%
男女計平均　26.9%

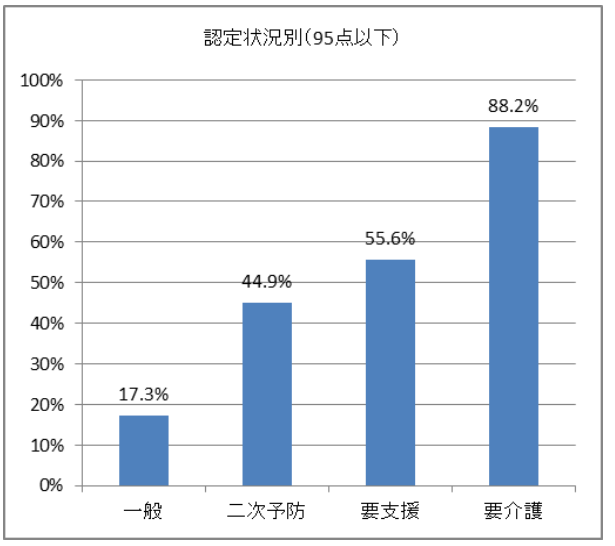
６．日常生活動作（ＡＤＬ）

日常生活動作（ＡＤＬ）に関する設問を下記のとおり設けています。ＡＤＬ評価指標として用いられてるバーセルインデックスに準じた設問・配点で、合計が100点満点となるように評価しております。

95点以下を「低下者」として評価した結果、性別でみると男性49.0%に対し、女性60.9%と女性の方が低下者の割合が高いです。年代でみると年齢が高くなるにつれて割合も伸びており、85歳以上においては、男女とも高い割合となっております。

認定状況別にみると、要介護者は高い割合になっており、要支援・二次予防においても、低下者の割合が約半数程度の割合となっております。





男性平均　　49.0%
女性平均　　60.9%
男女計平均　54.3%

100点：完全自立、65～95点：一部介助、45～60点：起居移動中心介助、40点以下：介助

設問番号	設問内容	選択肢	配点
問６－Ｑ６	食事	１．できる	１０
		２．一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる	5
		３．できない	0
問６－Ｑ７	寝床への移動	１．受けない	１５
		２．一部介助があればできる	１０
		３．全面的な介助が必要（問６－Ｑ８の回答が「１．できる」「２．支えが必要」の場合）	5
		３．全面的な介助が必要（問６－Ｑ８の回答が「３．できない」の場合）	0
問６－Ｑ９	整容	１．できる	5
		２．一部介助があればできる　又は　３．できない	0
問６－Ｑ10	トイレ	１．できる	１０
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	5
		３．できない	0
問６－Ｑ11	入浴	１．できる	5
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる　又は　３．できない	0
問６－Ｑ12	歩行	１．できる	１５
		２．一部介助（他人に支えてもらう）があればできる	１０
		３．できない	0
問６－Ｑ13	階段昇降	１．できる	１０
		２．介助があればできる	5
		３．できない	0
問６－Ｑ14	着替え	１．できる	１０
		２．介助があればできる	5
		３．できない	0
問６－Ｑ15	排便	１．ない	１０
		２．ときどきある	5
		３．よくある	0
問６－Ｑ16	排尿	１．ない	１０
		２．ときどきある	5
		３．よくある	0

７．その他集計

＜日常生活・生きがいについて＞

○世帯構成は「家族などと同居」が70.1%と過半数を占め、「１人暮らし」が21.8%となっております。

○年代別の世帯構成は、「１人暮らし」は前期高齢者17.6%に対し、後期高齢者26.1%と割合が高くなっており、「家族などと同居」している方は前期高齢者80.7%に対し、後期高齢者59.1%と割合が低くなっております。
また、家族などとの同居のうち、夫婦のみの世帯の方は前期高齢者65.6%、後期高齢者63.2%となっております。

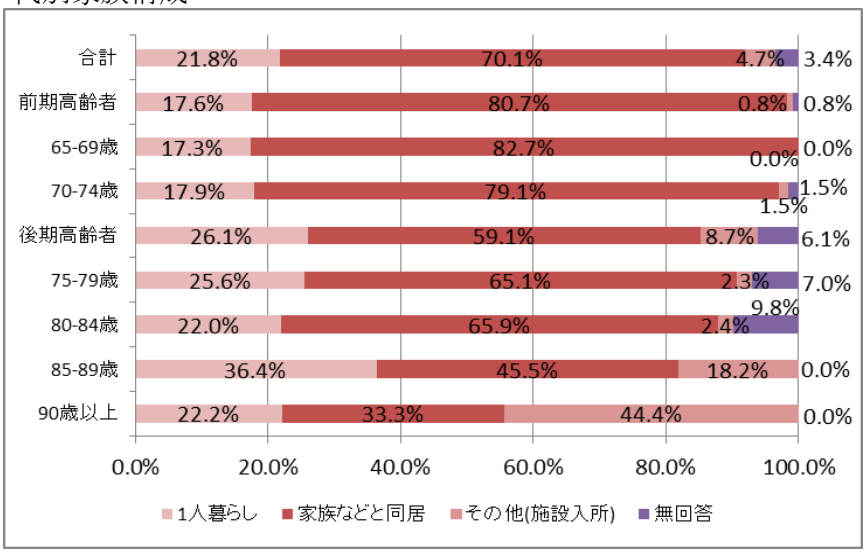
○日中に１人になる状況については、家族などと同居している方の中で122人74.4%となります。
1人暮らしの方も含めると、１人になる状況がある方は173人、回答者数の67.1%となります。
年代別の日中に１人になる状況は、前期高齢者74人77.1%、後期高齢者48人70.6%となります。

○１週間における外出の状況について、週１日以上の外出は、「買い物」76.0%、「散歩」42.3%となっております。いずれの外出もない方は6.7%となっております。

○通院の状況について、79.1%の方が何らかの事由により通院しております。通院の頻度としては、「月1回程度」39.5%、「2ヶ月に1回程度」25.9%となっております。

○食事の用意については、「できるし、している」59.4%、「できるけどしていない」24.8%と回答しており、「できない」11.1%となっております。85歳以上においては、25.8%と加齢によりできない割合は増えております。

年代別家族構成

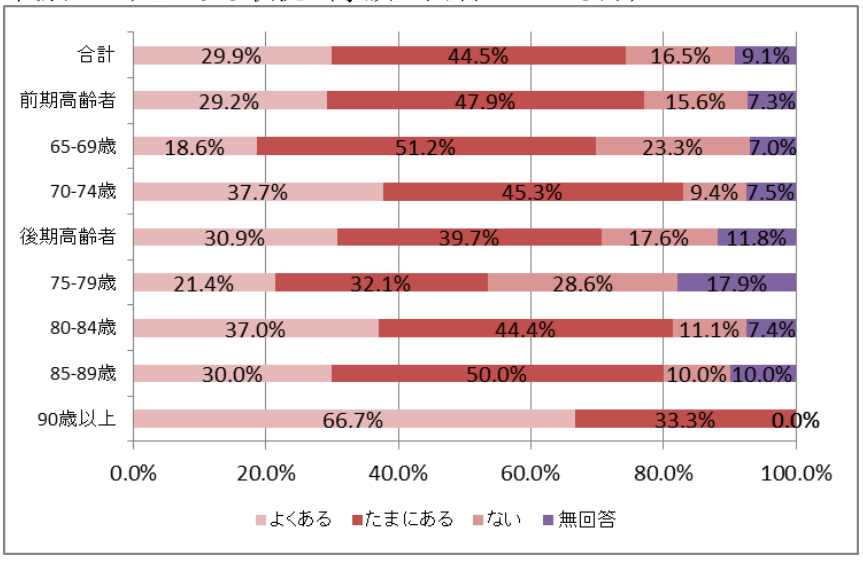


年代	総人数	1人暮らし	家族と同居	その他	無回答
65-69歳	52	9	43	0	0
70-74歳	67	12	53	1	1
75-79歳	43	11	28	1	3
80-84歳	41	9	27	1	4
85-89歳	22	8	10	4	0
90歳以上	9	2	3	4	0
合計	234	51	164	11	8

夫婦のみ世帯（家族と同居）

年代	総人数	配偶者のみ	
65-69歳	43	28	65.1%
70-74歳	53	35	66.0%
前期	96	63	65.6%
75-79歳	28	20	71.4%
80-84歳	27	19	70.4%
85-89歳	10	3	30.0%
90歳以上	3	1	33.3%
後期	68	43	63.2%
合計	164	106	64.6%

年代別の１人になる状況（家族と同居している方）

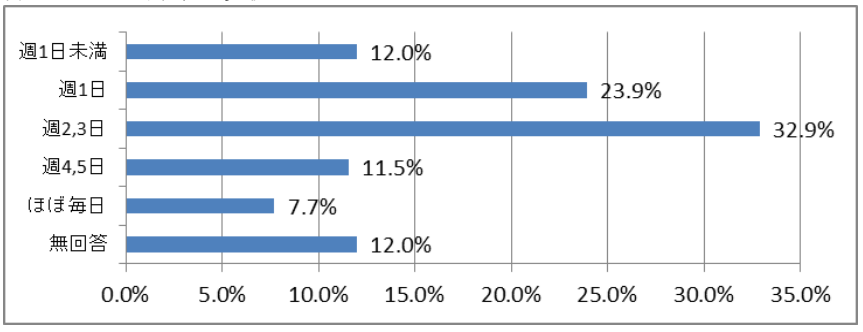


年代	総人数	よくある	たまにある	ない	無回答
65-69歳	43	8	22	10	3
70-74歳	53	20	24	5	4
75-79歳	28	6	9	8	5
80-84歳	27	10	12	3	2
85-89歳	10	3	5	1	1
90歳以上	3	2	1	0	0
合計	164	49	73	27	15

１人暮らしを加えた１人になる状況

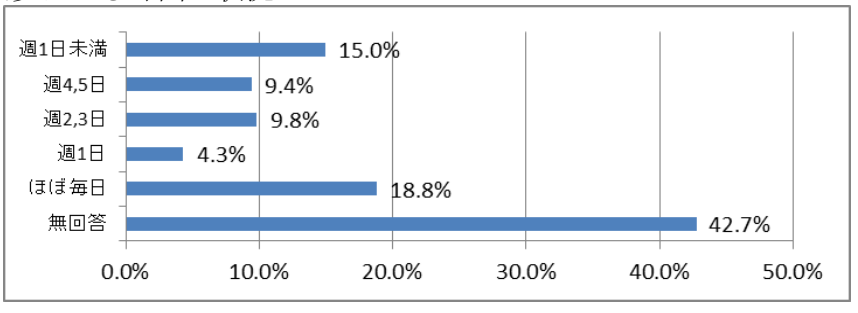
年代	総人数	よくある	たまにある	1人暮らし	合計	
65-69歳	52	8	22	9	39	75.0%
70-74歳	67	20	24	12	56	83.6%
75-79歳	43	6	9	11	26	60.5%
80-84歳	41	10	12	9	31	75.6%
85-89歳	22	3	5	8	16	72.7%
90歳以上	9	2	1	2	5	55.6%
合計	234	49	73	51	173	73.9%

買物による外出の状況



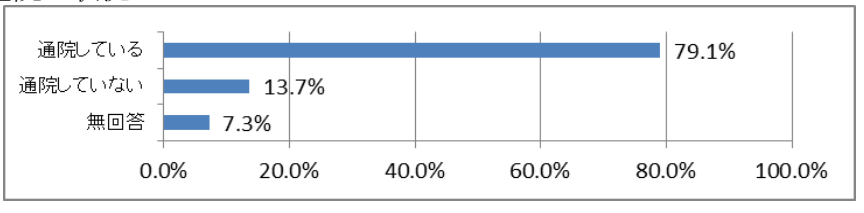
週１日未満	28
週１日	56
週２，３日	77
週４，５日	27
ほぼ毎日	18
無回答	28
合計	234

散歩による外出の状況



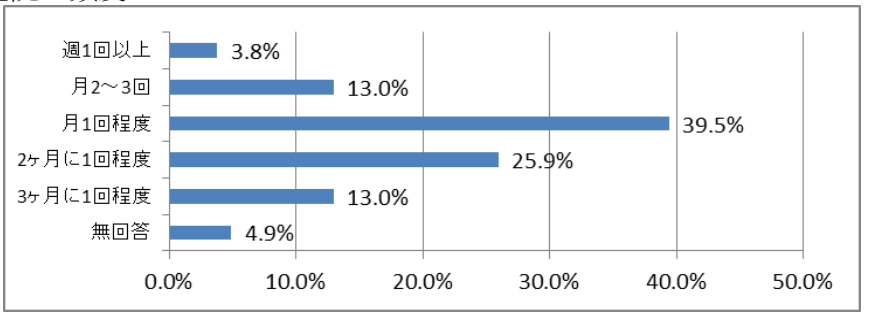
週1日未満	35
週1日	10
週2, 3日	23
週4, 5日	22
ほぼ毎日	44
無回答	100
合計	234

通院の状況



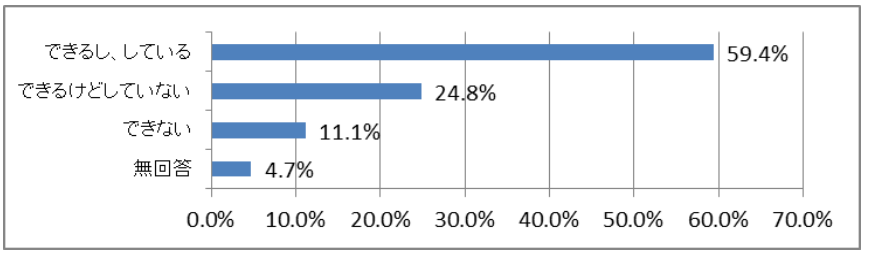
通院している	185
通院していない	32
無回答	17
合計	234

通院の頻度



週1回以上	7
月2～3回	24
月1回程度	73
2ヶ月に1回程度	48
3ヶ月に1回程度	24
無回答	9
全体	185

食事の用意



できるし、している	139
できるけどしていない	58
できない	26
無回答	11
合計	234

	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
65-69歳	59.6%	28.8%	7.7%	3.8%
70-74歳	77.6%	17.9%	3.0%	1.5%
75-79歳	51.2%	23.3%	18.6%	7.0%
80-84歳	61.0%	29.3%	9.8%	0.0%
85-89歳	31.8%	27.3%	27.3%	13.6%
90歳以上	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%
合計	59.4%	24.8%	11.1%	4.7%

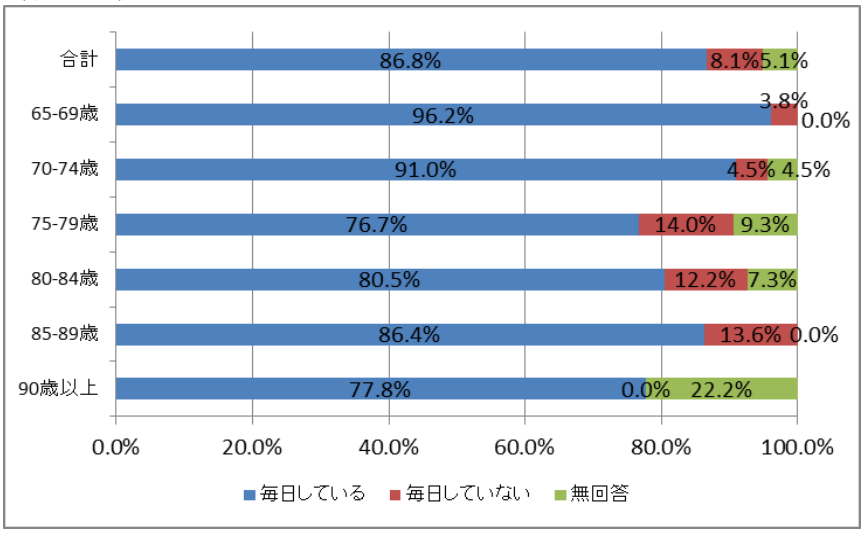
＜生きがい・健康について＞

○歯磨きは、全体で約87%の人が「毎日している」と回答しております。定期的な歯科受診については、「受診している」39.9%、「受診していない」56.0%となっております。
年代別ではばらつきはありますが、前期高齢者で38.7%、後期高齢者で27.8%の受診となっております。

○自分自身の現在の歯の本数について、前期高齢者においては10本以上ある方は69.7%となっておりますが、後期高齢者においては10本以上ある方については42.6%と減少しており、0本の方は24.3%となっております。

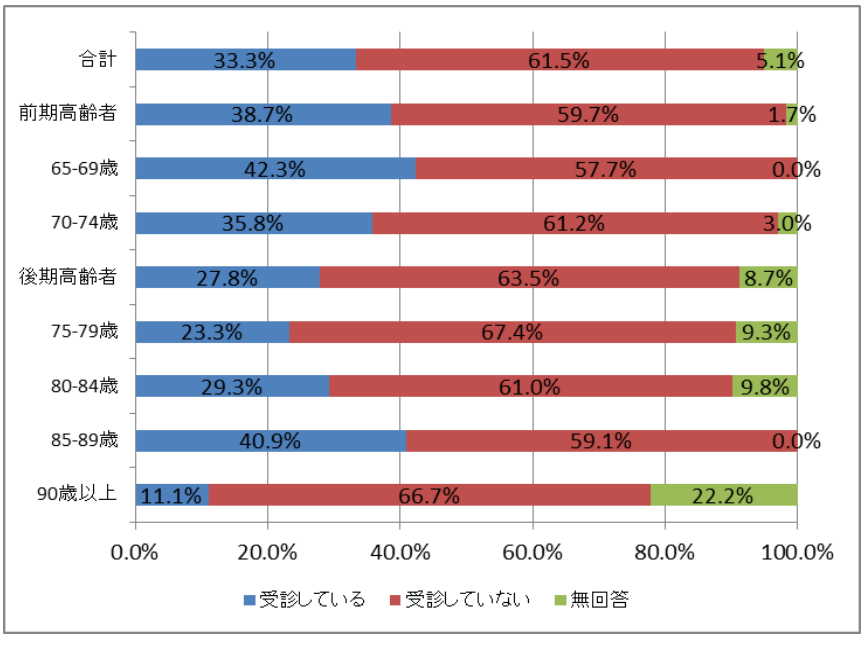
○グループ活動・社会参加活動などの参加状況について、日常的に参加しているものでは、「趣味のグループ」23.5%が最も多い状況です。また、「町内会・自治会の活動」については、年に数回ではありますが34.6%が参加しております。

歯磨きを毎日しているか



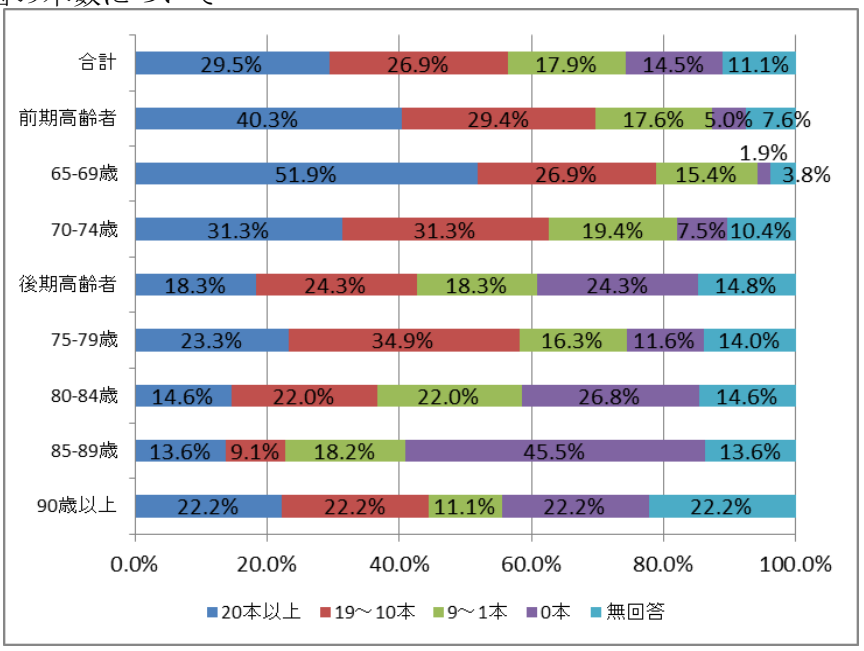
区分	全体	毎日している	毎日していない	無回答
65-69歳	52	50	2	0
70-74歳	67	61	3	3
75-79歳	43	33	6	4
80-84歳	41	33	5	3
85-89歳	22	19	3	0
90歳以上	9	7	0	2
合計	234	203	19	12

定期的な歯科受診状況



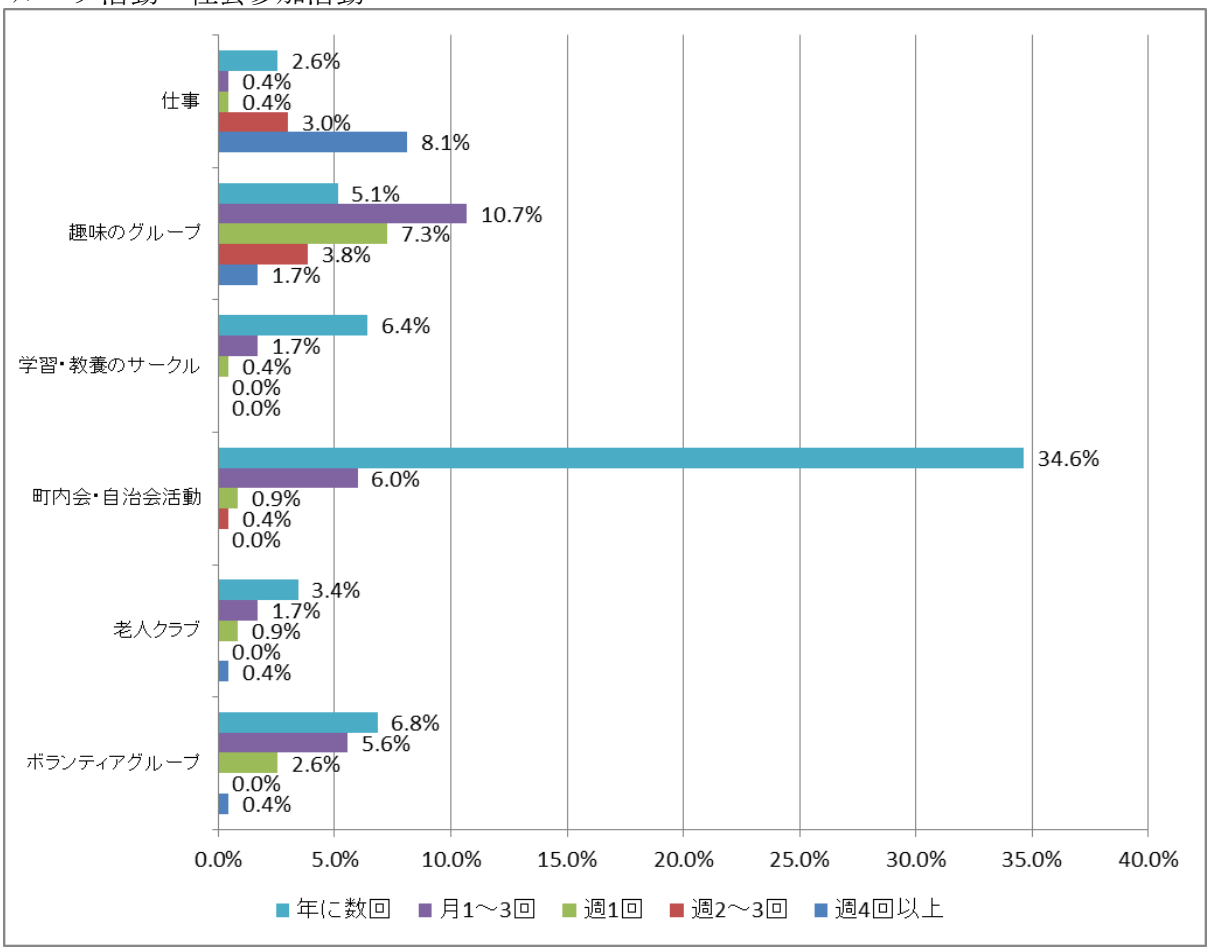
区分	全体	受診している	受診していない	無回答
65-69歳	52	22	30	0
70-74歳	67	24	41	2
75-79歳	43	10	29	4
80-84歳	41	12	25	4
85-89歳	22	9	13	0
90歳以上	9	1	6	2
合計	234	78	144	12

歯の本数について



区分	全体	20本以上	19～10本	9～1本	0本	無回答
65-69歳	52	27	14	8	1	2
70-74歳	67	21	21	13	5	7
75-79歳	43	10	15	7	5	6
80-84歳	41	6	9	9	11	6
85-89歳	22	3	2	4	10	3
90歳以上	9	2	2	1	2	2
合計	234	69	63	42	34	26

グループ活動・社会参加活動



区分	全体	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	していない	無回答
仕事	234	19	7	1	1	6	175	25
趣味のグループ	234	4	9	17	25	12	144	23
学習・教養のサークル	234	0	0	1	4	15	187	27
町内会・自治会活動	234	0	1	2	14	81	111	25
老人クラブ	234	1	0	2	4	8	194	25
ボランティアグループ	234	1	0	6	13	16	168	30

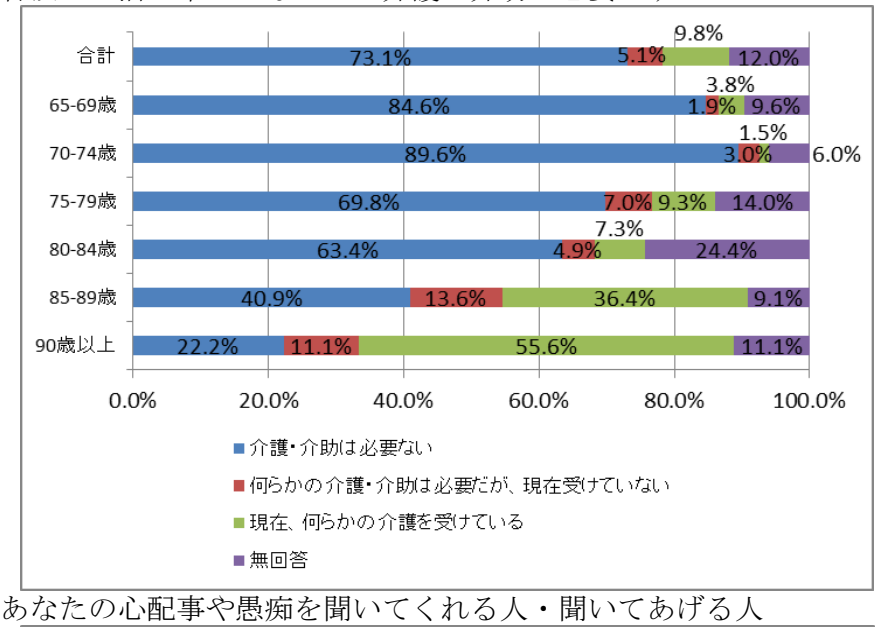
＜見守り・助け合いの状況について＞

○普段の生活の中で介護・介助が必要かについては、85歳以上において、必要とする割合が大きく伸びており85歳以上で50%、90歳以上では66.7%の方が必要としております。

○日頃心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」46.2%の割合が最も大きく、次いで「別居の子ども」39.3%、「友人」35.0%となっております。
反対に聞いてあげる人についても、ほぼ同様の割合となっております。

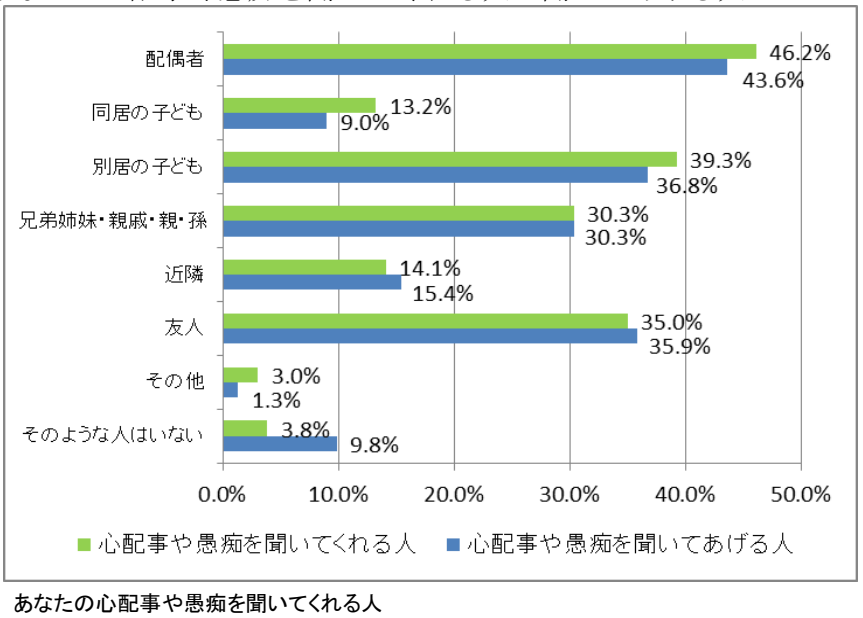
○数日間寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人として、「配偶者」53.4%と約半数の割合となっております。次いで、「別居の子ども」35.9%となっております。
反対に看病や世話をしてあげる人として、「配偶者」51.3%と約半数の割合となっておりますが、「そのような人はいない」17.9%としてあげる方がいない割合が大きくなっております。

普段の生活の中でどなたかの介護・介助が必要ですか



	全体	介護・介助は必要ない	必要だが、現在は受けていない	何らかの介護を受けている	無回答
65-69歳	52	44	1	2	5
70-74歳	67	60	2	1	4
75-79歳	43	30	3	4	6
80-84歳	41	26	2	3	10
85-89歳	22	9	3	8	2
90歳以上	9	2	1	5	1
合計	234	171	12	23	28

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人



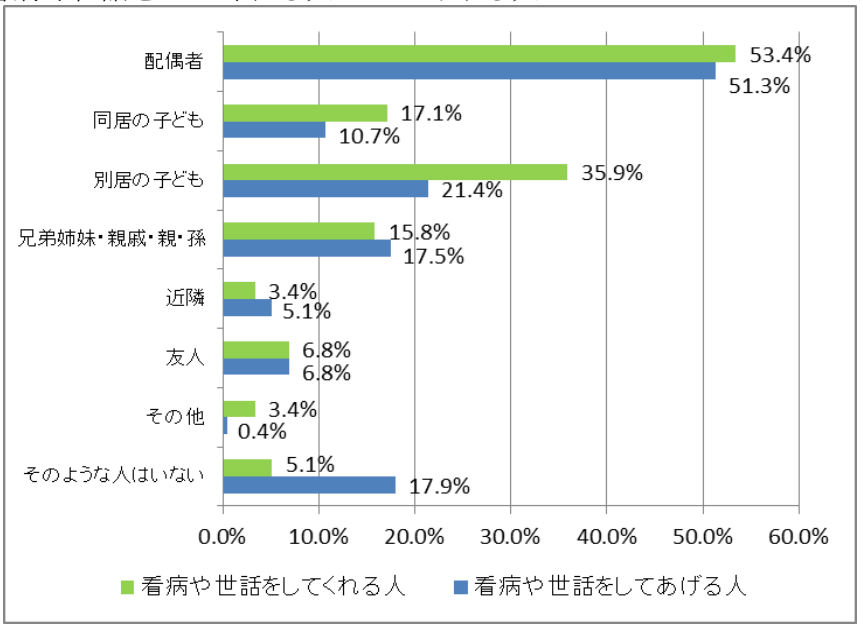
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

区分	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹等	近隣	友人	その他	いない
65-69歳	52	33	7	17	23	7	24	1	1
70-74歳	67	34	8	26	19	10	29	1	0
75-79歳	43	22	3	12	11	8	10	1	4
80-84歳	41	16	7	24	12	7	13	1	3
85-89歳	22	3	5	10	5	1	6	3	0
90歳以上	9	0	1	3	1	0	0	0	1
合計	234	108	31	92	71	33	82	7	9

反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

区分	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹等	近隣	友人	その他	いない
65-69歳	52	36	9	28	29	4	23	0	0
70-74歳	67	30	3	25	24	14	31	0	3
75-79歳	43	19	3	9	6	5	12	1	7
80-84歳	41	16	3	17	10	11	14	1	5
85-89歳	22	1	3	7	0	2	4	1	5
90歳以上	9	0	0	0	2	0	0	0	3
合計	234	102	21	86	71	36	84	3	23

看病や世話をしてくれる人・してあげる人



看病や世話をしてくれる人

区分	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹等	近隣	友人	その他	いない
65-69歳	52	36	9	16	15	1	4	0	3
70-74歳	67	39	11	22	11	2	3	0	4
75-79歳	43	27	3	13	5	4	3	3	5
80-84歳	41	19	10	21	4	1	4	2	0
85-89歳	22	4	5	9	2	0	2	2	0
90歳以上	9	0	2	3	0	0	0	1	0
合計	234	125	40	84	37	8	16	8	12

反対に、看病や世話をしてあげる人

区分	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹等	近隣	友人	その他	いない
65-69歳	52	39	7	21	18	3	5	0	3
70-74歳	67	40	8	17	13	4	5	0	6
75-79歳	43	22	4	5	4	4	3	0	11
80-84歳	41	18	4	7	4	1	2	1	9
85-89歳	22	1	2	0	0	0	1	0	10
90歳以上	9	0	0	0	2	0	0	0	3
合計	234	120	25	50	41	12	16	1	42